

琵琶湖・気候変動対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和2年10月29日（木）

2 調査の概要

(1) マザーレイクフォーラム運営委員会（会場：彦根市）

マザーレイクフォーラムは、マザーレイク21計画第2期計画（平成23年10月改定）に基づき、多様な主体が琵琶湖のあるべき姿に向けて集い、琵琶湖を愛する思いによってゆるやかにつながり、情報共有や行動を共にすることで、新たな活動への展開を作り出す場、またマザーレイク21計画の進行管理および評価・提言を行う場として、平成24年3月25日に設置され、県民、NPO、事業者、農林水産業従事者、専門家、行政等で構成されるマザーレイクフォーラム運営委員会により運営されている。

活動内容には、琵琶湖総合保全の方向性について評価や提言を行う「びわコミ会議」、地域ごと、分野ごとに交流や意見交換を行う「地域・分野別フォーラム」、インターネット上での情報発信や交流を行う「プラットフォーム」がある。

マザーレイク21計画が今年度末で終期を迎えることから、今後より多くの方の参画を後押しする新たな仕組みとしての「仮称マザーレイクフレームワーク」として再構築される予定であり、その議論もマザーレイクフォーラムで行われる予定である。

については、マザーレイクフォーラム運営委員等の皆さんと、琵琶湖の現状や課題、マザーレイク21計画のふりかえりおよびマザーレイクゴールズ等の今後の展開について、県民参画委員会を開催し、意見交換を行った。

